

令和5(2023)年度 移住・定住の促進について

令和6(2024)年1月31日 総合政策部地域振興課

1 移住相談

(1) 都内相談窓口（とちぎ暮らし・しごと支援センター）での移住相談

- ・場所：JR有楽町駅前・東京交通会館8階（ふるさと回帰支援センター内）
- ・体制：移住相談員 2名（対象：移住希望者等）
就職相談員 2名（対象：学生、求職者等）

(2) 市町オンライン移住相談

- ・ウェブ会議サービス Zoom を活用し、移住希望者と市町担当者をつなぐオンライン相談を実施（全市町対応可能）

(3) 市町移住・定住促進担当者等研修会

- ・市町移住相談担当職員や移住コーディネーターを対象とした研修会を開催

2 イベントの開催等

(1) オンライン移住セミナー

新しい生活様式に対応するため、Zoom や YouTube ライブ等の配信ツールを活用し、市町と連携した移住セミナーを開催。第3回は都内会場とのハイブリッド開催。

【R 5（全6回）】

第1回	『私たち、栃木に移住して起業しました』6月開催
第2回	『栃木県はテレワークにちょうどいい!』7月開催
第3回	『U字工事さん! 栃木県で暮らす魅力を教えてください!』9月開催（ハイブリッド・東京都）
第4回	『Enjoy!! とちぎ移住×地域おこし』11月開催
第5回	『とちぎ移住×就農』令和6年1月開催
第6回	『移住×転職で「栃木県」が選ばれるワケ』令和6年2月開催

(2) オールとちぎ移住&しごとフェア

県内全市町や関係団体、県内企業等と移住・就職の相談ができる合同移住相談会を開催

【R 5】

開催日時	令和5(2023)年10月22日(日)11:00~16:30
会場	東京交通会館12階ダイヤモンドホール
内容	・市町や企業等による移住・就職相談ブース、PRタイム ・大島美幸さんによるスペシャルセミナー、先輩移住者によるセミナー 等

(3) 全国規模の移住フェア出展、広域連携による開催

ふるさと回帰フェア、JOIN 移住フェア、4県合同移住セミナー 等

3 移住・定住促進情報の発信

(1) 移住・定住促進ウェブサイト「ベリーマッチとちぎ」の大規模改修・運営

移住希望者のニーズにきめ細かに対応するとともに、令和5年度は、ウェブサイトの利便性・満足度の向上を図るためサイト構成の見直し等の大規模改修を実施

(2) デジタルマーケティングを活用したPR

東京圏在住の若年層やテレワーカーに向けて、移住関心度に応じたデジタル広告によりイベント情報や支援情報等を発信

(3) SNSを活用した情報発信

東京圏在住の本県出身若年層や都内相談窓口での相談者を対象に、LINEによりイベント情報や移住支援情報等を配信

4 女性や子育て世帯を対象とした移住促進

東京圏在住の20代から40代の女性を対象に、移住促進セミナーや移住体験ツアーを開催

(1) 女性向け移住促進セミナー（全4回）

- ・女性及び子育て世帯を対象としたセミナーをオンライン及びハイブリッド形式で実施

第1回	『まちと自然のいいとこどり とちぎで子育てライフ』7月開催（オンライン）
第2回	『シゴトも暮らしも楽しみたい わたしのとちぎLife』9月開催（オンライン）
第3回	『のびのび暮らそう とちぎで子育てライフ』11月開催（ハイブリッド・東京都）
第4回	『シゴトも暮らしも楽しみたい わたしのとちぎLife』12月開催（オンライン）

(2) 女性向け移住体験ツアー（全2回）

- ・女性や子育て世帯を対象とした2泊3日の移住体験ツアーを実施

第1回	『親子でとちぎのまちと自然をリアルに体験』8月開催
第2回	『栃木で叶える わたらしい暮らし』10月日開催

5 テレワーカーの移住促進

(1) お試しテレワーク推進事業・お試しサテライトオフィス設置推進事業

- ・東京圏の会社員やフリーランスが本県内にお試しで居住しテレワークを実施する場合、宿泊費、賃料、通信費等の経費の一部を助成（最大10万円）。最短5日（4泊5日）から実施できるほか、同行家族に係る保育施設の利用料を補助対象に追加

(2) お試しサテライトオフィス設置促進事業

- ・市町が「お試しサテライトオフィス」を設置する場合に、設置・運営費等の一部を補助（ソフト経費のみ、補助率1/2、最大2年間）

6 移住支援金（とちぎWORKWORK就職促進プロジェクト事業費）

東京圏から本県に移住、就業した者等に対し、移住に係る経費を支援（最大100万円＋子育て世帯は子ども一人当たり100万円）